

保健係活動

デジタルサイネージを活用した保健係活動

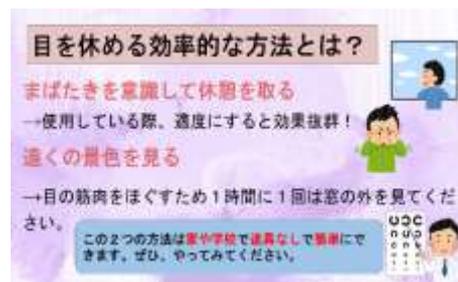
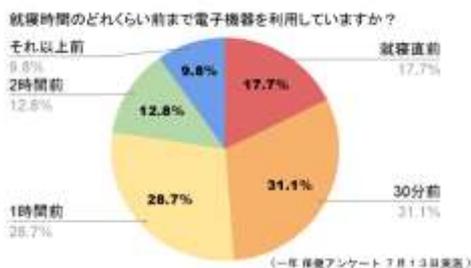
担当 下田妃華

【ICT活用の目標】

コロナ禍において狭い空間に大人数が集まることへの懸念がある。集会等を行えない場合に保健系の生徒たちが活動内容を周知する場面としてデジタルサイネージを活用して健康保健に関する内容を周知する。

【実践事例】

- ①保健系の生徒たちに附属中学校の健康課題について考えさせ、各学年ごとに健康課題を見つける。
- ②各学年の実態を詳しく知るためにアンケートを実施し分析する。
- ③分析結果から、課題を見つけ健康課題解決のためにどのようにすればいいか文献等で調べ、その結果をクロムブックのスライドで作成する。



以前はアンケート実施で紙媒体を使用し、全校生徒へ周知する際も、紙媒体を使用したり、デジタルを活用する場合も一人一台端末ではない場合、パソコン室などで作業を進める必要があった。

【ICT機器を活用する良さ】

- 一人一台端末の為作業が早くなる。
- 紙を印刷する必要がなくなる。
- アンケート用紙を回収し集計を取る必要が無くなり、収集結果のミスが無くなることや時間が効率的である。

【改善すべき点と原因および改善案】

- 全校集会などで周知した後デジタルサイネージに掲示するとより効果的になる。
- 自身がICT活用の知識増やしていく必要がある。